

平成26年 1 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年 9 月 3 日

上場会社名 株式会社アマガサ 上場取引所 東
 コード番号 3070 URL <http://www.amagasa-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天笠 竜蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西山 泰敬 TEL 03-3871-0111
 四半期報告書提出予定日 平成25年 9 月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年 1 月期第 2 四半期の連結業績（平成25年 2 月 1 日～平成25年 7 月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年 1 月期第 2 四半期	3,485	14.4	156	△5.4	163	△3.5	98	△0.1
25年 1 月期第 2 四半期	3,046	6.8	165	59.0	169	70.2	98	105.1

（注）包括利益 26年 1 月期第 2 四半期 118百万円（12.3％） 25年 1 月期第 2 四半期 105百万円（116.1％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年 1 月期第 2 四半期	52.79	—
25年 1 月期第 2 四半期	54.25	—

当社は、平成25年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
26年 1 月期第 2 四半期	5,805	1,906	32.8	1,023.32
25年 1 月期	5,417	1,817	33.5	975.55

（参考）自己資本 26年 1 月期第 2 四半期 1,906百万円 25年 1 月期 1,817百万円

当社は、平成25年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 1 月期	—	0.00	—	3,200.00	3,200.00
26年 1 月期	—	0.00			
26年 1 月期（予想）			—	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成25年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき200株の株式分割を行っております。なお、当該株式分割の効力発生日は平成25年 2 月 1 日としておりますので、平成25年 1 月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施いたしました。

3. 平成26年 1 月期の連結業績予想（平成25年 2 月 1 日～平成26年 1 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,556	6.6	300	△6.5	303	△6.7	174	△8.4	93.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3 ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年1月期2Q	1,920,000株	25年1月期	1,920,000株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	56,800株	25年1月期	56,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年1月期2Q	1,863,200株	25年1月期2Q	1,814,738株

当社は、平成25年2月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

・当社は、平成25年9月13日（金）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、6月の完全失業率が4年8ヶ月ぶりに3%台となったほか、4-6期のGDP成長率が3四半期連続してプラスとなるなど、緩やかな景気回復基調がみられました。

当社が属する婦人靴業界におきましては、大手各社による低価格路線の継続がみられました。こうした環境のもと、当第2四半期連結累計期間において当社は、高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持並びにイレギュラー商材の拡販に努めました。

小売事業においては、店頭ニーズを反映したMDの徹底と、接客レベルの向上に注力した結果、既存店売上が二桁増となったことに加え、新店売上也堅調に推移したことから全店ベースの売上高、営業利益とも上場来最高となりました。また、JELLY BEANS河原町OPA店、ららぽーと横浜店、静岡パルコ店を移設リニューアルする一方、GinetteなんばCITY店、JELLY BEANSららぽーと柏の葉店、アトレ秋葉原店を出店致しました。これにより、7月31日現在の直営店舗数は23店舗となりました。

卸売事業においては、アパレル顧客向け販売が計画を下回ったものの、百貨店及び通販事業者向け販売が計画を上回ったほか、専門店顧客向け販売がプラスに転じたことから売上高は前年を大きく上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高3,485百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益156百万円(同5.4%減)、経常利益163百万円(同3.5%減)、四半期純利益98百万円(同0.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,208百万円(前連結会計年度末は1,826百万円)となり、382百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加(807百万円から1,097百万円へ290百万円増)、現金及び預金の増加(784百万円から870百万円へ86百万円増)及び商品在庫の増加(218百万円から224百万円へ5百万円増)であります。

また、固定資産の残高は、3,597百万円(前連結会計年度末は3,591百万円)となり、5百万円増加しました。主な理由は、固定資産の取得による増加(73百万円増)、減価償却による減少(98百万円減)、差入保証金の増加(23百万円増)及び投資有価証券の増加(11百万円増)であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,850百万円(前連結会計年度末は1,536百万円)となり、313百万円増加しました。主な理由は、仕入債務の増加(465百万円から710百万円へ245百万円増)、未払法人税等の増加(27百万円から68百万円へ41百万円増)及び1年内返済予定の長期借入金の増加(815百万円から845百万円へ30百万円増)であります。

また、固定負債の残高は、2,048百万円(前連結会計年度末は2,063百万円)となり、14百万円減少しました。主な理由は、リース債務の減少(121百万円から101百万円へ20百万円減)、退職給付引当金の増加(90百万円から96百万円へ6百万円増)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,906百万円(前連結会計年度末は1,817百万円)となり、89百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上98百万円による増加、為替換算調整勘定の増加(4百万円から18百万円へ14百万円増)及び配当金の支払い29百万円による減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、599百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は198百万円(前年同期は79百万円の収入)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額245百万円、税金等調整前四半期純利益163百万円及び減価償却費98百万円に対し、売上債権の増加額290百万円、法人税等の支払額23百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は64百万円(前年同期は22百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出91百万円、有形固定資産の取得による支出55百万円及び差入保証金の差入による支出21百万円に対し、定期預金の払戻による収入109百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は41百万円（前年同期は30百万円の収入）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出471百万円、リース債務の返済による支出40百万円及び配当金の支払額29百万円に対し、長期借入れによる収入500百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年8月27日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784,896	870,900
受取手形及び売掛金	807,593	1,097,903
商品及び製品	218,153	224,047
その他	21,038	21,653
貸倒引当金	△5,600	△6,300
流動資産合計	1,826,082	2,208,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,586,931	1,584,649
土地	1,529,346	1,529,346
その他（純額）	141,377	129,846
有形固定資産合計	3,257,655	3,243,842
無形固定資産	89,811	80,180
投資その他の資産	244,288	273,388
固定資産合計	3,591,754	3,597,412
資産合計	5,417,836	5,805,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,594	710,600
1年内返済予定の長期借入金	815,307	845,339
未払法人税等	27,453	68,519
返品調整引当金	5,400	7,400
その他	223,035	218,505
流動負債合計	1,536,790	1,850,364
固定負債		
長期借入金	1,834,938	1,833,533
退職給付引当金	90,743	96,954
その他	137,716	118,105
固定負債合計	2,063,397	2,048,593
負債合計	3,600,188	3,898,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,335,330	1,403,890
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	1,802,973	1,871,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,440	16,755
為替換算調整勘定	4,234	18,370
その他の包括利益累計額合計	14,674	35,125
純資産合計	1,817,647	1,906,659
負債純資産合計	5,417,836	5,805,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
売上高	3,046,062	3,485,803
売上原価	1,931,849	2,249,822
売上総利益	1,114,213	1,235,981
販売費及び一般管理費	948,538	1,079,321
営業利益	165,674	156,659
営業外収益		
仕入割引	22,986	25,994
その他	10,818	11,668
営業外収益合計	33,805	37,663
営業外費用		
支払利息	25,487	21,386
その他	4,820	9,668
営業外費用合計	30,308	31,054
経常利益	169,171	163,268
特別損失		
固定資産除却損	400	80
特別損失合計	400	80
税金等調整前四半期純利益	168,771	163,187
法人税等	70,310	64,816
少数株主損益調整前四半期純利益	98,461	98,371
四半期純利益	98,461	98,371

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年 7 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年 7 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	98, 461	98, 371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5, 486	6, 315
為替換算調整勘定	1, 901	14, 136
その他の包括利益合計	7, 387	20, 451
四半期包括利益	105, 849	118, 822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105, 849	118, 822
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,771	163,187
減価償却費	91,578	98,222
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,077	6,211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,062	△1,200
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,100	2,000
受取利息及び受取配当金	△1,285	△1,877
支払利息	25,487	21,386
売上債権の増減額 (△は増加)	△175,281	△290,310
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,090	△5,894
仕入債務の増減額 (△は減少)	165,975	245,005
その他	25,565	4,308
小計	280,681	241,040
利息及び配当金の受取額	1,285	1,877
利息の支払額	△25,487	△21,386
役員退職慰労金の支払額	△156,845	—
法人税等の支払額	△20,107	△23,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,527	198,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126,600	△91,631
定期預金の払戻による収入	165,939	109,509
投資有価証券の取得による支出	△1,110	△1,229
有形固定資産の取得による支出	△35,216	△55,294
無形固定資産の取得による支出	—	△631
差入保証金の回収による収入	10,000	30
差入保証金の差入による支出	△32,187	△21,539
その他	△2,876	△3,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,051	△64,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△457,180	△471,373
自己株式の処分による収入	49,797	—
配当金の支払額	△29,067	△29,697
リース債務の返済による支出	△32,842	△40,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,708	△41,471
現金及び現金同等物に係る換算差額	372	3,484
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,556	95,831
現金及び現金同等物の期首残高	502,706	503,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	591,263	599,425

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。